～研修医日記～

Vol.15　『私生活から学ぶ研修医の自己研鑽』　　― 人エパーマ研修医編 ―

私の研修医一年目は仕事において上司の先生方、病院スタッフの方々、先輩、同期に恵まれ非常に充実した 1 年を過ごすことが出来た。また数々の失敗もあったが、そこから学ぶことも多かった。しかし一方、私生活は充実したかというと反省の残る部分が多かったと思う。こちらも失敗をいくつも重ねてきた。
我々研修医はそんな失敗を今後どう活かすかが重要なテーマであると常日頃考えている。
そこで今回、仕事のことはさておき、私生活の症例（特に女性関係）を提示し、これらから学んだことを今後どのように活かすかを若干の文献的考察！？を加えて報告したいと思う。
なお COI に関しては口が裂けても言えません！！

【症例①】電機メーカーOL ちあきちゃん　20 代
【主訴】：お祈りからのうっちゃり
【現病歴】学生時代に付き合っていた元カノに別れ際に「別れても私はずっと応援してる。国家試験終わって落ち着いたら絶対連絡してね。合格したら会って是非お祝いさせてね！❤️」と言われていた。
【以下 LINE のやりとり】
人エパーマ研修医：「久しぶり！　元気にしてる？」
ちあきちゃん：「久しぶりー！元気やでー！そちらは元気にしてる？」
人エパーマ研修医：「元気やで。医師国家試験合格したわ！」
ちあきちゃん：「えー！！おめでとう！！実はどうなったかず～～～～っと心配しててん。」
人エパーマ研修医：「ありがとう。ずっとちあきにいい報告できるように頑張ったわ。もしよかったら今度一緒にお祝いのご飯行こうよ。」
ちあきちゃん：「ごめん行きたいねんけど、私この前婚約してん。だからゴメン会われへんわ～」
人エパーマ研修医：「・・・・・・💧💧💧そうか・・・もう一度会いたいと思っててんけど撤退するわ。ちあきの幸せを祈ってるよ。」
最後は気持ち悪いぐらいにキザにかっこつけた。
後日ちあきに偶然再会した時に「あの時は気持ち悪いくらいキザやったわ～！！」って言われた・・・💧💧　大きなお世話じゃ～～～！！！💢💢💢

【考察】時とは流れるものである。そして人の心も変わる者である。研修医として研鑽を積むことが出来る時間もすぐに流れるかもしれない。一方、上司の言うこともコロコロ変わるかもしれない！？時間が有限であることを念頭に置き 1 日1日大事に研鑽していくことと、言うことがコロコロ変わる上司の話はせいぜい半分程度に聞き流しておくことが重要である。

【症例②】電力会社勤務　なおちゃん 30 代
【主訴】:勘違い
【現病歴】バーベキュー合コン後、幹事より自分のことが気になる子がいるので連絡先を教えていいかの LINE がきた。快諾し LINE でやりとりした後会うこととなった。しかし、待ち合わせ場所では相手を探し出すのに時間がかかり、話をしていてもなかなか目も合わせてくれず、終始微妙な顔をしていて、デートも盛り上がらず終了・・・💧。
後に幹事と LINE した。
【以下幹事との LINE】
人工パーマ研修医:「この前なおちゃんと会ってんけど最初から全然乗り気じゃなさそうやったわ・・・待ち合わせにも時間かかったし・・・💧」
幹事:「ごめん実はなおちゃん、おまえと別の人の名前を勘違いしてたみたいやねん。ちゃんと確認しとけばよかった、本当にごめん。」
人工パーマ研修医:「んなことあるんかいな！？　そらぁ待ち合わせ場所で違う人がおったら声かけにくいし、話をしてても気まずくて目も合わせられんわなぁ～～💦・・・」

【考察】浮かれずきちんと確認していれば今回の事態は未然に防げたかもしれない。仕事においてもオーダーの確認、上級医への報告に漏れがないかを確認する作業は非常に重要である。また仕事でもプライベートでも、話をしている時に目を合わせてくれない相手がいれば、自分は相手にとってお呼びじゃない存在なのかもしれないと認識しなければいけない・・・💧

【症例③】管理栄養士　えりちゃん　20 代
【主訴】:祭り愛過多
【現病歴】先輩に紹介してもらって付き合うことになった彼女と仲良くやっていたと思った矢先、突如以下の LINE が来る。
【えりちゃんからの LINE 内容】
ラインで話すような話じゃないんやけど、直接話したら言いたい事上手く伝えられなさそうやから文字で伝えさせてね。
まず、返信遅くなってごめん。
私ね、地域柄、幼い頃からだんじり祭りと共に育ってきてね・・・祭りをこよなく愛してて、三度の飯と3時のおやつと夜食の次くらいに祭りが好きなんよ！！（大して好きではないんとちゃう？？）それでね、幼い頃からいつかは大工方（だんじりの屋根に乗っている人）になりたい！！って夢見てきたんよ・・・（そ、そ、それはすごいかも・・・💦💦）
でもね、男の人と付き合ったら楽しいかな～ってず～～っと思ってきたんやけど、実際に付き合ってみたら・・・・・・私ね、あちこちで太鼓の音を聞くたびに祭りが催されてるんではないかと血が騒いで騒いで、デートどころではなくなることに気がついたんよね。そんな曖昧な気持ちで付き合ってても失礼やなって思ったから、別れた方がいいかなあと思ってね・・・今回、祭り終わるまで待ってて欲しいって言ったのに一方的で自分勝手でごめん。短い間やったけど気持ち伝えてくれて付き合ってくれてありがとう。お仕事大変やろうけど、無理せず頑張ってね。私は無理をしてでも祭りを

愛し続ける覚悟でいるんで・・・

その後話し合いもなく音信不通・・・💧。
後に同期に『祭りに敗北した男！！』と揶揄される。

【考察】時に争う相手はヒト対ヒトでなく、ヒト対イベントというどうにもならない敵と戦わねばならない。仕事においても患者さんや病院スタッフと接する時にヒト対ヒトではなく 理性 対 下心 とか ホンネ 対 タテマエ とか自分の中でややこしい戦いが多々勃発する。

【症例④】看護師 なつみちゃん 20 代
【主訴】:思わせぶり
【現病歴】今年度1番の好みの女性の連絡先をゲットし、飲み会やるまでの1か月間ほぼ毎日やりとりをしていた💞
飲み会後、「1カ月間毎日 LINE もしてたし、飲み会では向こうも周りの煽りにまんざらでもなかったから、飯ぐらいは一緒に行ってくれるやろ」と高をくくり LINE をした。
【以下 LINE のやりとり】
人工パーマ研修医:「今日なつみちゃんと話せて楽しかった。もっと話したいからご飯いけへん？」
なつみちゃん:「2人とかですかね。誘っていただいてありがたいんですけど、私には大切な人がいるんで、みんなとなら行きたいです！」
人工パーマ研修医:「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・💧💧💧」
深夜1時、ねぼけと悔しさのあまり「おおおおお」と実家の3階の寝室で雄叫びをあげてしまった。すると2階で寝ていた母親が寝室に来た。
おかん:「あんたどうしたん、大丈夫？？」
人工パーマ研修医:「大丈夫、変な夢見たわ」
おかん:「大丈夫やったらええけど。近所迷惑やから気いつけや！！」
翌朝
おかん:「夕べどんな夢みとったん？」
人工パーマ研修医:「病院で患者さんが亡くなる夢をみてん・・・💦」
おかん:「寝てる時も患者さんのこと考えて、さすがお医者さんやな。」
人工パーマ研修医:「ハハハハハハハ・・・・・・💦💦」
あまりにも情けない言い訳を母親にする。

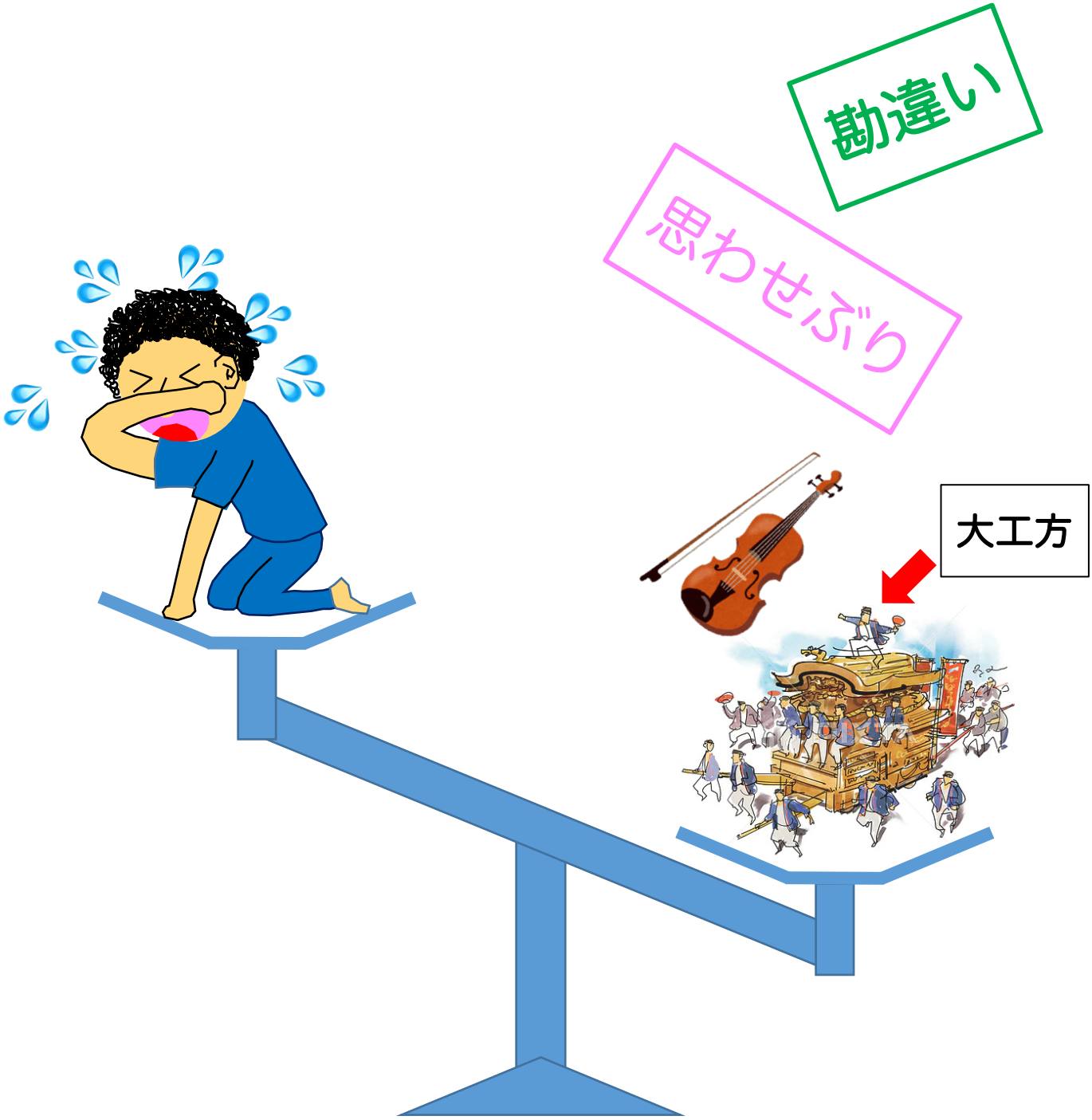
【考察】声を出すときは時間、場所をきちんと配慮するべきである。回診中の患者さんのベッドサイドでの下ネタ談義はもってのほかであるし、看護師さんを飲み会とかに誘うために声をかける時も TPO を意識するのが重要である。

【症例⑤】バイオリニスト かすみちゃん 30 代
【主訴】:向上心旺盛

【現病歴】6回ほど遊び、クリスマスも一緒に過ごしたバイオリニストの女性。いい感じで付き合う直前までいった。しかしその女性が楽団の難関オーディションに合格し、広島の楽団に移籍することとなった。遠距離恋愛も考えたが、私にとってはお好み焼きに麺が入る文化や、大好きな白米をよそう神聖なしゃもじを野球の応援の時にメガホンのように叩いている文化が受け入れられなかったことから交際しないこととなった。神戸での厳かな最後のコンサートの中で私は、まるでお通夜に参加しているような気持ちで見守り、静かに兵庫県立芸術文化センターを去った。
なお演奏はベートーヴェンとシューベルトであったが、脳内は『般若心経』が響き渡っていた・・・💧

【考察】相手の幸せを悔しくても悲しくても祝福するのが真の漢というものである。しかしだ！！悔しくて悲しい気持ちで祝福するなんて、そんな偽りの祝福は必要なんだろうか？それが真の漢なのであれば私にはクソ喰らえだ！！！
どうして私は祭りにもバイオリンにも勝てないんだぁ～～～！！！💢💢💢

【変集者後記】
得てして仕事からよりも私生活から学ぶことが多いということがあるようだ・・・・・💧
しかしこの研修医、わずか一年の間にどれだけの出会いを経験しているんだろう？と世の多くの男子から嫉妬されそうな状況である。ただ、どの症例も思うようになっていないところと考察がややずれているところがお茶目💕であり、世の男子を少し安心させているようにも思える。
この研修医には是非幸せを掴んでほしいものである。
そして仕事についても多くを学んで成長してもらいたいと切に願って止まない。


勘違い
思わせぶり
大工方